

平成 2 0 年度三番瀬再生実施計画（案）と事業の進捗状況について

第 1 節 干潟・浅海域

平成 2 0 年度 千葉県三番瀬再生実施計画（案）		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
1 干潟的環境（干出域等）形成の検討・試験 2 淡水導入の検討・試験 【企画調整課・検討 G】 三番瀬再生実現化推進事業 （ 要求予定 千円）	三番瀬では、埋立てによる干潟の減少や地盤高の低下による浅海域化の進行、汽水的な環境の場の減少等、自然環境が単調化しています。 そこで、現在残る干潟的環境を保全しつつ、三番瀬の多様な環境再生の試みとして干潟的環境（干出域等）形成の試験及び淡水導入の試験の実施に向け、三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会の意見を踏まえ、引き続き事前環境調査を実施するとともに、試験計画及びモニタリング計画を策定し、漁業者、関係機関等との協議等を行います。 1 三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会の開催 4 回 2 試験計画及びモニタリング計画の策定 3 事前環境調査の実施（春季・夏季・秋季） 4 漁業者、関係機関等との協議等	平成 1 8 年度 決算額 11,482 千円 事業実施結果 18 年度は、庁内検討グループ検討会を 5 回開催し、検討会では必要に応じ学識経験者の助言をいただきました。「干潟的環境形成の検討・試験」及び「淡水導入の検討・試験」については、 (1)事例の収集及び課題の整理 (2)期待される機能 (3)試験(案)の検討等の調査を実施しました。 結果の評価 干潟的環境形成及び淡水導入に向け、期待される機能・効果や試験実施に必要な条件等を整理することができました。 平成 1 9 年度 当初予算額 13,000 千円 実施計画 現在残る干潟的環境を保全しつつ、三番瀬の多様な環境再生の試みとして干潟環境(干出域等)形成の試験及び淡水導入の試験の実施に向けた試験計画の検討を進めます。 また、検討結果を踏まえて先行的に取り組む試験については、試験の実施に伴う三番瀬の生態系や漁場環境への事前の影響予測等を行います。 1 試験計画の検討 試験箇所や実施時期、規模、方法等及び、順応的管理の取組内容、モニタリング計画等を検討します。 2 影響予測等の実施 試験の実施に伴う周辺環境への影響予測等を行います。 事業進捗状況 公開による三番瀬再生実現化試験計画等検討委員会の意見を聴きながら、具体的な試験計画及びモニタリング計画の検討、事前環境調査(冬季)、試験による周辺環境への影響予測等を行います。 現在、検討委員会を 3 回、勉強会を 1 回開催しました。 （ 決算額・予算額は事業 1 - 1、1 - 2、5 - 3 の合計額）
(事業計画における 5 か年の目標) 1 干潟的環境（干出域等）形成の検討・試験の実施 2 淡水導入の検討・試験の実施		

第2節 生態系・鳥類

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
1 行徳湿地再整備事業 【自然保護課】 行徳湿地再整備事業 (要求予定 千円)	<p>行徳湿地は、三番瀬の後背湿地の機能を有する汽水域の場所としての役割を發揮することが期待されています。</p> <p>そこで、三番瀬との海水交換促進による干出域の拡大や湿地への淡水導入促進による汽水域化を図る施設の整備内容を検討するための調査を実施するとともに、学識経験者、NPO、市川市、県関係機関等による行徳内陸性湿地再整備検討協議会において、具体的な検討を行います。</p> <p>また、湿地環境の悪化防止のため、現況水路や浄化池等施設の機能調査及び維持管理等を行います。</p>	<p>平成18年度 決算額 29,389千円</p> <p>事業実施結果</p> <p>1 湿地内施設整備調査 ・導流堤整備調査 ・淡水導入影響調査(夏季) ・深みの埋め戻し調査</p> <p>2 行徳内陸性湿地再整備検討協議会の開催 2回</p> <p>3 湿地環境維持管理</p> <p>結果の評価 施設整備に向けた調査を進めるとともに、整備内容に係る検討会を開催し、今後の調査課題を明らかにしました。また、水環境等の維持管理を行った結果、湿地環境を大きく悪化することなく維持しました。</p>
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬との海水交換、淡水導入 促進施設の検討及び着工	<p>1 湿地内施設整備調査設計 行徳湿地と三番瀬との海水交換の促進、行徳湿地への淡水導入の強化等の再整備内容や湿地環境への影響を検討するための調査を行います。</p> <p>・深み埋め戻し詳細設計 ・生物生息環境影響予測調査</p> <p>2 検討協議会開催 施設の整備内容等について、行徳内陸性湿地再整備検討協議会での検討を行います。</p> <p>・年2回開催</p> <p>3 湿地内環境改善・維持管理等 湿地の環境が悪化しないよう、現況水路の水管理や浄化池の機能保持のための維持管理等を行います。</p>	<p>平成19年度 当初予算額 59,485千円</p> <p>実施計画</p> <p>1 湿地内施設整備調査設計 行徳湿地と三番瀬との海水交換の促進、行徳湿地への淡水導入の強化等の再整備内容や湿地環境への影響を検討するための調査を行います。</p> <p>・千鳥水門整備調査 ・淡水導入施設整備調査 ・湿地内生物生息環境調査</p> <p>2 検討協議会開催 施設の整備内容等について、行徳内陸性湿地再整備検討協議会での検討を行います。</p> <p>・年2回開催</p> <p>3 湿地内環境改善・維持管理 湿地の環境が悪化しないよう、現況水路の水管理や浄化池の機能保持のための維持管理を行います。</p> <p>事業進捗状況 19年度は、湿地内施設整備調査として千鳥水門整備調査、淡水導入施設整備調査、湿地内生物生息環境調査を実施するとともに、行徳内陸性湿地再整備検討協議会により施設整備の内容を検討します。 また、現況水路や浄化池等既存施設の機能調査及び維持管理を行います。</p>

第2節 生態系・鳥類

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況	
事業名	事業内容		
2 三番瀬自然環境調査事業 【自然保護課】 三番瀬自然環境調査事業 (要求予定 千円)	<p>三番瀬の自然や生物相について、中長期の変動を含めた把握・評価をするとともに、得られた科学的知見を順応的管理による再生事業の実施に役立てることが必要です。</p> <p>そこで、平成18年12月の三番瀬再生会議からの意見を踏まえ、生物とそれを取り巻く環境についての定期的な調査を行います。</p> <p>三番瀬の自然環境の把握のためには、水環境などの物理的環境の把握が必要であるため、次の調査を実施します。</p> <p>1 水環境モニタリング 3地点において、水温、塩分、クロロフィル、濁度、流向・流速等を1年間を通じて連続的に計測します。</p> <p>2 深浅測量 三番瀬の地形について調査を行います。なお、調査にあたっては、音響探査機を用いた測線間隔50mの測量に加え、RTK-GPSによる標高測定を追加して、精度を向上させて調査します。</p>	<p>平成18年度 決算額 24,891千円</p> <p>事業実施結果 18年度は、底質調査、底生生物調査については、100地点において季節ごとに計4回、干潟干出域カニ類等生息状況調査については、干出域が広く出現する6月の大潮の時期に1回行いました。</p> <p>結果の評価 本調査の実施により、三番瀬全体の自然環境の把握に向け、底質及び底生生物等の現状を把握し、また、今回の調査結果と平成14年度調査、平成7年から8年に実施した補足調査との比較を行うことができました。 調査結果の評価については、三番瀬評価委員会において、検討いただいているところです。</p>	
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬の自然環境の把握		<p>平成19年度 当初予算額 42,400千円</p> <p>実施計画</p> <p>1 三番瀬海生生物現況調査(魚類着底状況) 魚類の着底状況を把握するため、三番瀬海域及びその周辺の調査地点において月1回着底稚魚を採集し、種の同定、個体数及び湿重量等の計測を行います。</p> <p>2 三番瀬鳥類生息状況調査 三番瀬及びその周辺に飛来する鳥類について、生息状況を把握するため、種の同定、個体数、行動状況及び食性等を調査します。 ・個体数経年調査 ・行動別個体数調査 ・スズガモ及びカワウ食性調査</p> <p>事業進捗状況 海生生物現況調査(魚類着底状況)及び、鳥類生息状況調査について、実施計画に基づき実施しています。 また、評価委員会において、平成18年度調査の結果の評価や平成20年度以降の調査計画について、評価・検討いただきました。</p>	

第2節 生態系・鳥類

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
3 生物多様性の回復のための 目標生物調査事業 【自然保護課】 生物多様性の回復のための 目標生物調査事業 (要求予定 千円)	<p>生物多様性の回復の度合いを県民にわかりやすく示すため、当面の目標として、回復の目安となる生物種(目標生物種)の選定等を行うことが必要です。</p> <p>そこで、目標生物種(動・植物)候補を選定するとともに、当該生物の生活史、生態系の中での位置付けや生息環境条件等について、情報や事例を収集した後に、目標生物種の選定を進めます。</p>	<p>平成18年度 決算額 - 千円</p> <p>事業実施結果</p> <p>結果の評価</p>
(事業計画における5か年の目標) かつての生物多様性の回復のための 当面の目標生物種の選定と再生のための 調査・検討		<p>平成19年度 当初予算額 - 千円</p> <p>実施計画</p> <p>目標生物種(動・植物)候補選定のための必要な調査に先立ち、三番瀬にかつて生息していた生物及び現在生息している生物について、既存資料や博物館等の資料により、生息空間ごとに生活史や生息環境条件等を整理します。</p> <p>事業進捗状況</p> <p>目標生物種(動・植物)の候補選定に向けて、三番瀬にかつて生息していた生物及び現在生息している生物について、既存資料等により整理を行っています。</p>

第3節 漁業

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
1 豊かな漁場への改善方法の検討 【水産課】 三番瀬漁場改善検討事業 (要求予定 千円) (事業計画における5か年の目標) 三番瀬漁場改善策に係る整理と評価	三番瀬周辺海域は、地形、海況等の変化により、漁場としての機能が低下していることから、三番瀬の漁場特性を整理し、漁場ごとに改善方向を検討していくことが必要です。 そこで、これまでの科学的な知見と、漁業者の経験的知見から得られる漁場の特性を整理した「三番瀬漁場特性マップ」(平成19年度に完成予定)の情報に基づき抽出した漁場再生手法等について、数値シミュレーションによる効果や影響の検証を行い、漁場再生の具体化に向けた検討を行います。 また、ノリの生産に大きな影響を与える育苗期の病害については、最近特に、発生が著しい状況にあるため、『漁場特性マップ』の情報を補完するための現地調査を行います。	平成18年度 決算額 6,983千円 事業実施結果 18年度は、(1)水深や底質等のデータとS55とH15の秋季について、流況シミュレーションを実施し漁場環境のデータの整理とPCへの入力を行うと共に、(2)ノリ養殖業(市川側)とアサリ漁業の年度別生産経過等のPCへの入力を行い、「漁場特性マップ」の基礎を作成し、これまでの科学的な知見による漁業と漁場環境の関係と、漁業者の経験的知見から得られる漁場の海域区分との関係を考察しました。 結果の評価 平成18年に実施予定であったパソコンへの漁場環境データの入力は完了し、シミュレーションによる三番瀬の流況再現は高い再現性が得られ、期待した成果が得られました。 また、漁場環境データ等の表示システムが完成し、今後の検討の基礎を構築することができました。
	1 「漁場特性マップ」の情報等に基づく改善手法の検討 平成19年度に完成する「漁場特性マップ」及びその情報等を基に抽出した漁場再生手法の数値シミュレーションによる効果と影響の検討 2 ノリの病害情報補完のための現地調査 ノリの病害に関し、最も重要となる育苗期における漁場の環境条件を把握するため、流向・流速や水質等の調査の実施	平成19年度 当初予算額 8,300千円 実施計画 1 「漁場特性マップ」の完成 漁場環境や漁業生産状況に関する情報を追加して「漁場特性マップ」を完成させます。 (1) 情報の地図情報化(GIS化) (2) 漁業生産状況と漁場環境特性との関係を可能な限り定量的に解析し、漁場特性に応じた海域の区分 (3) (2)と漁業者の経験的知見から得られる漁場の海域区分との関係の考察 2 漁場環境の改善方向の検討 マップ情報を基に、漁場環境の改善方向について検討を行います。 事業進捗状況 未入力のデータを整理・入力するとともに、流況再現季節を追加して「漁場特性マップ」を完成させ、その情報をもとに具体的な漁場再生手法について、三番瀬漁場再生検討委員会において抽出・検討します。 現在、三番瀬漁場再生検討委員会を2回開催し、検討を行っています。

第3節 漁業

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
2 アオサ対策 【漁業資源課】 三番瀬漁場再生調査事業 (要求予定 千円) 三番瀬漁場再生事業 (要求予定 千円)	<p>大量に発生したアオサは三番瀬に堆積・腐敗して、漁場環境に悪影響を及ぼすことからアオサを効率的に回収することが必要です。</p> <p>そこで、アオサ発生状況調査を継続し、発生状況等について把握するとともに、19年度に導入したアオサ回収システムにより発生状況に応じた回収を行っていきます。</p> <p>また、回収したアオサの処理や有効利用方法について情報収集や検討を行います。</p>	<p>平成18年度 決算額 3,341千円</p> <p>事業実施結果</p> <p>アオサ回収システム開発を行い実用化の目途が立ちました。また、漁業者と連携してアオサ発生状況調査を実施しました。さらに、アオサ処理や有効利用方策に関する検討を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発生状況について6～11月に6回調査を実施し、最大発生量は2,400トンと推定された。 2 回収試験について、8月と11月(公開)に回収試験を実施し、最大で0.5トン/分のアオサが回収でき、実用化の目途がたった。 3 処理方法・有効利用策の検討 地元市等及び関係機関と処理や餌料等の有効利用策について情報収集を行ったほか、バイオマス関係試験に材料を提供した。 <p>結果の評価</p> <p>三番瀬の漁場や水質の悪化を招くアオサを効率的に回収する方法として、自走式潜水トラクターは有効と考えられます。</p>
(事業計画における5か年の目標) 漁業者との連携によるアオサの発生状況に応じた回収・処理方法の確立		<p>平成19年度 当初予算額 5,172千円</p> <p>実施計画</p> <p>平成18年度に実用化したアオサ回収用の自走式潜水トラクター及び回収装置の導入に対し助成し、漁場の再生を図ります。</p> <p>また、漁業者と連携してアオサの発生量をモニタリングするとともに、アオサの有効利用・処理等に関する事例収集や検討等を行います。</p> <p>事業進捗状況</p> <p>千葉県漁業協同組合連合会がアオサ回収システムを導入するにあたり、この経費の一部を助成します。</p> <p>7～11月に5回の発生状況の調査を実施する予定で、既に4回を終了し、平成19年度はこれまでの発生量よりも少ない状況です。</p> <p>市町村等の焼却施設での処理や、食料、餌料、バイオマス等の利用方法について情報収集や検討を行ってきています。</p>

第3節 漁業

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
3 藻場の造成試験 【漁業資源課】 三番瀬漁場再生調査事業 (要求予定 千円)	三番瀬の漁場環境を改善するため、魚介類の生息場等として期待される藻場を試験的に造成する必要があります。 そこで、漁業者と連携したアマモ場造成を試行し、モニタリング調査を実施するとともに、移植用の株や種子の確保、及びアマモの生態観察を目的に人工栽培手法の開発を継続して行います。	平成18年度 決算額 2,410千円 <u>事業実施結果</u> アマモ移植とモニタリング調査を実施しました。また、アマモ場造成区での機能評価を行うため、平成17年度に造成したアマモ場の生物生息状況調査を実施しました。さらに、移植用のアマモ株と種子を確保するため人工栽培試験を行いました。 1 藻場造成については、10月に市川側と船橋側の2か所(各250本)で実施した。 2 平成17年度に造成したアマモ場における産卵・生息状況調査を6～7月に実施し、ハゼやメバル稚魚、コウイカの卵塊等を確認した。 3 人工栽培試験では、前年秋から陸上水槽に682株を移植したところ、5月には花枝を採取し、約500個の種子を得た。また株は順調に増加した。 <u>結果の評価</u> 造成したアマモ場と造成していない場所について、イカ類の産卵や稚魚育成場及び底生生物を比較したところ、アマモ場が資源の増大に有効であると考えられました。 平成19年度 当初予算額 828千円 <u>実施計画</u> 漁業者と連携したアマモの移植試験及びモニタリング並びにアマモの移植株等の確保のための人工栽培試験を継続します。 <u>事業進捗状況</u> 18年度造成分について、7月に調査を実施し、市川側では株数が3,500本に、同様に船橋側では1,000本に増加していましたが、10月の調査ではこれまでと同様に枯死流出していることが確認されました。 11月に2カ所で移植を実施し、今後モニタリング調査を行っていく予定です。 また、人工栽培試験では、移植用の株については確保できましたが、種子の出来具合が不調でした。
(事業計画における5か年の目標) 漁業者との連携によるアマモ場づくり		

第3節 漁業

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
<p>4 ノリ養殖管理技術の改善 【漁業資源課】</p> <p>ノリ生産管理技術システム化試験事業 東京湾全体を対象 (要求予定 千円)</p> <p>東京湾漁業総合対策事業(共同利用施設設置事業) 東京湾全体を対象 (要求予定 千円)</p> <p>三番瀬漁場再生事業 (要求予定 千円)</p> <hr/> <p>(事業計画における5か年の目標) 三番瀬の漁場環境に対応した適切なノリ養殖管理技術の確立</p>	<p>三番瀬をはじめとする東京湾のノリ養殖業の安定生産を実現するためには、漁場環境に対応した適切なノリ養殖管理技術を確立していくことが必要です。</p> <p>そこで、ノリ養殖管理に必要な情報の提供を行うほか、現場を巡回し漁場特性の把握に努め、漁場特性に対応した漁場行使や、温暖化に対応した養殖管理などの技術指導を継続して実施します。また、陸上採苗施設の機能強化を支援します。</p> <p>1 技術指導等 (1)各漁協の養殖施設の適正配置を指導します。 (2)育苗期のノリ芽健全度調査の実施及び、生育状況の情報提供を行います。 (3)既存の気象・海況データと生産状況のデータベース化及び、養殖管理情報の提供や、養殖指導を行います。</p> <p>2 ノリの陸上採苗に必要な高性能冷水機の整備に対し助成します。 事業主体 漁業協同組合 補助対象 陸上採苗施設冷水機整備 補助率 補助対象経費の5/10以内</p> <p>3 漁場特性に対応したノリ養殖管理技術を実証するため、三番瀬の場所別ノリの生長量や疾病の発生状況調査を実施します。</p>	<p>平成18年度 決算額 2,879千円</p> <p>事業実施結果 ノリ芽健全度情報及びノリ養殖通報等のノリ養殖管理に必要な情報の提供を行ったほか、漁場特性に対応した漁場行使や養殖管理などの技術指導を行いました。また、ノリ養殖における採苗の安定のため陸上採苗施設の機能強化を支援しました。</p> <p>【うち三番瀬に関する実施結果】 周年にわたりノリ養殖技術現地指導や7月に研修会を実施したほか、適宜ノリ芽健全度情報やノリ養殖通報等の提供を行いました。また、漁協が導入した高性能冷水機の経費の一部を助成しました。</p> <p>結果の評価 技術指導や情報提供により現場の技術向上、陸上採苗施設の機能強化、及び高水温耐性品種の作出に資することができました。</p> <hr/> <p>平成19年度 当初予算額 11,339千円</p> <p>実施計画 1 現場での巡回技術指導等を継続して漁場の変化を的確に把握し、漁場特性に対応した漁場行使やノリ網の管理等を漁業者と連携して進め、ノリ養殖業の振興を図ります。 取組内容 (1)各漁協の養殖施設の適正配置を指導します。 (2)育苗期のノリ芽健全度調査の実施及び生育状況の情報提供を行います。 (3)既存の気象・海況データと生産状況のデータベース化及び養殖管理情報の提供や、養殖指導を行います。</p> <p>2 ノリの陸上採苗に必要な冷水器の整備に対し助成します。</p> <p>事業進捗状況 これまで、ノリ養殖技術現地指導や7月に研修会を実施したほか、今後は適宜ノリ芽健全度情報やノリ養殖通報等の提供を行っていきます。 また、陸上採苗施設の高度化のため、漁協が導入した2機の高性能冷水機の経費の一部を助成します。</p>

第3節 漁業

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
5 高水温耐性ノリ品種の改良 【漁業資源課】 高水温耐性ノリ品種改良事業 東京湾全体を対象 (要求予定 千円)	三番瀬をはじめとする東京湾のノリ主要産地では、海水温の上昇による養殖の開始時期の遅れや、年内の生産枚数の減少、病害による品質低下等により、ノリ養殖業は不安定な状況にあり、安定生産を実現していく必要があります。 そこで、高水温耐性を持ったノリ株の収集、及び高水温下での室内培養による優良株の選抜育種を行うとともに、選抜した優良株の海面での養殖試験を実施します。 1 原種の収集 交配に使用するスサビノリの原種の収集を行います。 2 室内培養 (1) 養殖品種の高水温下での選抜育種を行います。 (2) プロトプラストを作出し、突然変異の誘導と細胞融合による交配を行います。 3 室外培養 室内培養で選抜育種した品種を使って、海上での試験養殖を実施します。	平成18年度 決算額 13,737千円 事業実施結果 県内養殖場及び県外から高水温耐性優良株を収集し、選抜育種を行い、有望な3株について大量培養を行いました。 【うち三番瀬に関する実施結果】 品種改良試験のため、特に該当ありません。 結果の評価 高水温耐性品種の作出に資することができました。
		(事業計画における5か年の目標) 漁業者との連携による高水温耐性ノリの開発

第3節 漁業

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況	
事業名	事業内容		
6 アサリの資源生態に関する総合調査 【漁業資源課】 内湾貝類漁場調査事業 東京湾全体を対象 (要求予定 千円)	三番瀬ではアサリ資源が減少傾向にあることから、アサリ資源を持続的に利用するための調査・研究を進めていくことが必要です。 そこで、アサリ資源の変動要因の解明のため、漁業者と共同でアサリの資源分布、肥満度等の調査を継続して行います。 1 資源分布調査 偶数月に1回実施します。 2 肥満度調査 毎月1回実施します。	平成18年度	決算額 209千円
		事業実施結果 アサリ浮遊幼生の生態及びアサリ資源の変動要因の解明のため、浮遊幼生・着底稚貝調査、資源分布調査、肥満度調査を実施しました。 1 浮遊幼生及び着底稚貝について10回調査を実施しました。 2 資源分布調査を2か月に1回、肥満度調査を毎月1回実施しました。 【うち三番瀬に関する実施結果】 三番瀬でも、同様の調査を実施しました。 結果の評価 浮遊幼生、着底稚貝、着底した後の成長や減耗など、資源変動要因の解明のための貴重な資料を得ることができました。	平成19年度
(事業計画における5か年の目標) アサリ浮遊幼生の生態及びアサリ資源の変動要因の解明		実施計画 漁業者と連携したアサリの資源量や肥満度に関する調査を継続します。 1 資源分布調査 偶数月に1回実施します。 2 肥満度調査 毎月1回実施します。 事業進捗状況 資源分布調査を2か月に1回偶数月に実施しています。また、肥満度調査を毎月1回実施しています。 今年度は、江戸川放水路の出水があったため、10月にアサリに対する影響調査を行いました。	

第3節 漁業

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
7 アサリ生産対策 【漁業資源課・水産課】 三番瀬漁場再生事業 (要求予定 千円) 海面利用調整指導事業 全県を対象 (要求予定 千円)	三番瀬ではアサリ資源が減少傾向にあることから、アサリ資源の維持・増大を図り、安定生産を実現していくことが必要です。 そこで、波浪抑制による冬期減耗防止技術を確立させるため、19年度に検討した消波パネルの最適な設置方法の検討を継続するとともに、アサリ保護効果の確認を行います。 また、密漁対策のため、関係機関と連携して既存ルール周知を徹底するためのチラシ配布や現地指導等を行います。	平成18年度 決算額 3,959千円 事業実施結果 アサリ稚貝採取システムが概ね完成しました。また、アサリ冬期減耗防止のための波浪抑制方式について検討しました。さらに、アサリ密漁対策のため、漁業権漁場及び制度の周知・指導を徹底したほか、取締りの強化に努めました。 1 自走式潜水トラクターを活用し、水流によりアサリを砂中から露出させ、エアリフトで回収する方式によるアサリ稚貝採取システムが概ね完成しました。 2 波浪抑制のための各種構造物の比較検討をした結果、FRP製の消波パネルが現実的との結論を得ました。 3 漁業権漁場や制度の周知のためチラシの配布、市の広報、たて看板の設置や、漁場管理対策巡回指導を行いました。 結果の評価 現実的な波浪抑制試験の方向性を決めたほか、アサリ稚貝採取システムの仕様が概ね固まるなど、漁場生産力の効果的な利活用に資することができました。 また、漁業者による適切な漁場管理の支援を実施し、秩序ある漁場利用を図りました。 平成19年度 当初予算額 2,900千円 実施計画 アサリの冬季減耗対策として簡易構造物を設置して波浪を抑制し、アサリを保護育成する実証試験を行い、アサリ漁業の振興を図ります。 事業進捗状況 11月に消波パネルを3パターンの方法で設置し、今後、それぞれについて波浪減衰効果に関する調査を実施する予定です。 また、密漁対策のための漁場管理対策巡回指導を継続して行っています。
(事業計画における5か年の目標) アサリの冬期減耗対策、稚貝対策及び秩序ある漁場利用の確立		

第3節 漁業

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
8 漁業者と消費者を結ぶ取組 【水産課】 水産物販売流通消費総合対策事業 全県を対象 (要求予定 千円)	<p>三番瀬の漁業を活性化させるためには、漁業への幅広い県民の理解が必要です。 そこで、県下全域の取組との整合を図りつつ、「千産千消」やブランドづくりの取組等、漁業者による三番瀬の漁業に関わる情報発信を支援して消費者との結びつきを深めていきます。</p> <p>1 千葉のさかなおいしさPR (1)「千産千消」を推進するための冊子の作成・配布を行います。 (2)県内全域の水産物を包括的にPRする販売促進活動を実施します。</p> <p>2 朝揚げ水産物直送システムの推進 朝揚げ水産物の流通・販売体制の定着化に向けた生産者と流通関係者の情報交換を促進します。</p> <p>3 ホームページを活用した交流の推進 県ホームページ「千葉さかな倶楽部」を活用した産地情報の発信による消費地との交流を推進します。</p> <p>4 ブランドづくり支援 「千葉のさかな」のブランドづくりに向け、全国に誇れる優れた水産物を「千葉ブランド水産物」として認定するほか、意欲をもって取り組む地域生産者の活動を支援します。</p>	<p>平成18年度 決算額 3,874千円</p> <p><u>事業実施結果</u> 県下全域の取組組みとして、消費者との結びつきを深めるため、(1)「千産千消」を推進するための冊子の作成・配布や県内全域の水産物を包括的にPRするイベントへの支援、(2)朝揚げ水産物直送システムの推進、(3)県ホームページを活用した交流の推進、(4)「千葉ブランド水産物」の認定、を行いました。 【うち三番瀬に関する実施結果】 ホームページや小冊子で、東京湾漁業や東京湾で獲れる水産物について紹介しました。また、「千葉ブランド水産物」として東京湾のノリ製品を認定し、販売促進を行いました。</p> <p><u>結果の評価</u> ・ ホームページや小冊子による情報提供を通じて、東京湾漁業への周知を図り、理解を深めることができたと思われまます。 ・ 千葉ブランド水産物の認定により、認定品(東京湾産ノリ製品)は認定前に比べて販売量が増加(前年比150~300%)しました。</p> <p>平成19年度 当初予算額 4,603千円</p> <p><u>実施計画</u> 県下全域の取組との整合を図りつつ、「千産千消」やブランドづくりの取組等、漁業者による三番瀬の漁業に関わる情報発信を支援して消費者との結びつきを深めていきます。 1 千葉のさかなおいしさPR (1)「千産千消」を推進するための冊子の作成・配布を行います。 (2)県内全域の水産物を包括的にPRするイベント出品経費等を助成します。 2 朝揚げ水産物直送システムの推進 朝揚げ水産物の流通・販売体制の定着化に向けた生産者と流通関係者の情報交換を促進します。 3 ホームページを活用した交流の推進 県ホームページ「千葉さかな倶楽部」を活用した産地情報の発信による消費地との交流を推進します。 4 ブランドづくり支援 「千葉のさかな」のブランドづくりに向け、全国に誇れる優れた水産物を「千葉ブランド水産物」として認定するほか、意欲をもって取り組む地域生産者の活動を支援します。</p> <p><u>事業進捗状況</u> ・ 販売促進活動を通じて、積極的に東京湾産の水産物のPRをしています。 ・ 千葉ブランド水産物の認定に向けて、手続きを進めています。</p>
(事業計画における5か年の目標) 「千産千消」やブランドづくりの取組支援		

第4節 水・底質環境

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
<p>1 海老川流域等の自然な水循環系の再生 【河川環境課・下水道課】</p> <p>都市河川再生事業(海老川) (要求予定 千円)</p> <p>総合治水対策特定河川事業(真間川) (- 千円)</p> <p>印旛沼流域下水道事業 (要求予定 千円)</p>	<p>1 都市河川再生事業(海老川) 三番瀬に流入する海老川の健全な水循環系の再生を図ることが必要です。 雨水浸透施設の設置を奨励するパンフレットの配布や出張講義の実施、建築・排水確認申請時における官民一体となった設置指導を行い、流域住民の啓発に努め、雨水浸透対策の促進を引き続き図ります。</p> <p>2 総合治水対策特定河川事業(真間川) 真間川流域においても、海老川流域と同様に急激な都市化の進展によって、湧水の枯渇、水質汚濁、生態系の変化などの問題が発生しており、真間川流域の健全な水循環系の再生を図ることが必要です。 16年3月策定の「真間川流域水循環系再生構想」の実現に向けて、具体的な実施施策を盛り込んだ行動計画の策定などに引き続き取り組みます。</p> <p>3 印旛沼流域下水道事業 海老川水系の各河川は都市化の進展により、水質汚濁や河川の維持流量の減少が危惧されます。 下水高度処理水を河川に導水し、平常時流量の確保や河川の水質改善を図ることにより、新たな水環境の創造に引き続き取り組みます。 施工位置 船橋市 事業内容 ・長津川、飯山満川への還元導水 ・下水処理水還元用分岐施設整備</p>	<p>平成18年度 決算額 273,975千円</p> <p>事業実施結果 ・流域貯留浸透事業(海老川) 雨水浸透施設の設置を奨励するパンフレットの作成を行いました。 ・印旛沼流域下水道事業 印旛沼流域下水道花見川第二終末処理場の高度処理水を河川に還元するために必要な施設整備(習志野ポンプ場や下水処理水還元用分岐施設)を実施しました。</p> <p>結果の評価 ・海老川については、雨水浸透施設の設置を奨励するパンフレットの作成を行いました。 ・印旛沼流域下水道事業については、海老川の健全な水循環の再生に向け、当初予定した内容の施設整備を実施し、19年度に一部供用開始ができるようになりました。</p> <p>平成19年度 当初予算額 16,000千円</p> <p>実施計画 ・流域貯留浸透事業(海老川) 海老川流域の清らかで豊かな流れの創出を目的として、雨水浸透施設の設置を奨励するパンフレットの配布や、建築・排水確認申請時における官民一体となった設置指導を行い、流域住民の啓発に努め、雨水浸透対策の促進を図ります。 ・総合治水対策特定河川事業(真間川) 16年3月に流域住民、関係機関と協力し「真間川流域水循環系再生構想」をとりまとめたところであり、今後、この実施に向けて、具体的な実施施策を盛り込んだ行動計画の策定などに取り組みます。 ・印旛沼流域下水道事業 下水高度処理水を河川に導水し、新たな水環境の創造に取り組みます。 施工位置：船橋市 事業内容：下水処理水還元用分岐施設整備 印旛沼流域下水道花見川第二終末処理場の高度処理水を河川へ放流するための分岐施設の整備</p> <p>事業進捗状況 ・海老川については、雨水浸透施設の設置を奨励するパンフレットを海老川流域の各小中学校へ配布しました。出張講義については、ちば生物多様性県民会議戦略グループ会議(8月)で行ったほか、11月上旬に小学校で行いました。今後も随時出張講義を行う予定です。 ・真間川については、「真間川流域水循環系再生構想」の実現に向けて、行動計画の策定に係る関係機関との調整を行うため、具体的な実施施策などの検討を進めています。 ・印旛沼流域下水道事業については、長津川、飯山満川への河川還元を開始するとともに、下水処理水還元用分岐施設整備に係る設計業務等を進めています。</p>
<p>(事業計画における5か年の目標) 海老川流域の湧水の保全と再生のため、樹林帯の保全と再生を図りつつ、残された湧水源を保全し、まちづくりの様々な場面での雨水浸透対策等を促進</p>		

第4節 水・底質環境

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
3-(1) 合併処理浄化槽の普及 【水質保全課】 生活排水対策浄化槽推進事業 全県を対象 (要求予定 千円)	東京湾へ流入する汚濁負荷量を削減するため、下水道未整備地域において、生活排水対策を進める必要があります。 そこで、合併処理浄化槽や高度処理型浄化槽の普及促進および単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進を図ります。 1 市町村による浄化槽設置者への補助事業に対する助成 ・千葉県及び全域下水道区域である浦安市、習志野市を除く県下 53 市町村に対し、3,792 基の補助を行います。	平成18年度 決算額 378,215 千円 事業実施結果 千葉県及び全域下水道区域である浦安市、習志野市を除く 53 市町村に対し、3,408 基の浄化槽設置補助を行いました。 このうち、東京湾流域の 18 市町では 1,691 基、三番瀬流域市においては 321 基の浄化槽設置補助を行いました。 【うち三番瀬に関する実施結果】 船橋市：148 基(転換補助 8 基) 市川市：173 基(転換補助 7 基) 計 321 基(転換補助 15 基)
		(事業計画における5か年の目標) 水質汚濁防止法に基づき、国が定める総量削減基本方針に従い策定した東京湾総量削減計画により、生活排水や産業排水対策等を実施し、流入する化学的酸素要求量(COD)、窒素、リンの負荷量を削減します。
		事業進捗状況 1 53 市町村に対して 3,151 基の当初内示を行っており、9月13日現在で 2,144 基(転換補助 500 基)の進捗が図られています。 船橋市：88 基(転換補助 5 基) 市川市：104 基(転換補助 6 基) 計 192 基(転換補助 11 基)

第4節 水・底質環境

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
<p>3-(2)産業排水対策 【水質保全課】</p> <p>特定事業場等排水監視指導事業 全県を対象 (要求予定 千円)</p> <p>東京湾の総量規制対策事業 東京湾全体を対象 (要求予定 千円)</p>	<p>東京湾総量削減計画に基づく水質総量規制等により、産業排水からの汚濁負荷量を削減する必要があります。</p> <p>そこで、19年度に策定した第6次東京湾総量削減計画に基づき、段階的に汚濁負荷量を削減するとともに、特定事業場への立入検査等により規制基準の遵守状況を把握し、必要に応じて排水処理施設の改善、設置等の指導を行います。</p> <p>また、排水量の多い事業場について、異常な負荷の発生を感知し、緊急に対応できる仕組みを水質汚濁防止法の政令市と連携して検討します。</p> <p>1 特定事業場等排水監視指導事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 水質汚濁防止法に基づき、特定事業場等を対象に立入検査を実施します。 また、異常な負荷の緊急に対応できる仕組みについては、現行の法制度やメンテナンス等の課題もあることから、政令市と連携して検討します。 <p>2 東京湾の総量規制対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 規制対象事業場に対する講習会の開催及び規制対象事業場の排水実績データや流域人口等のフレームデータを整理し、総量削減計画の進行管理を行います。 	<p>平成18年度 決算額 37,163 千円</p> <p><u>事業実施結果</u></p> <p>1 水質汚濁防止法に基づく特定事業場の排水監視については、県及び同法の政令市が所轄する規制対象事業場に対し、立入検査を実施しました。</p> <p>2 県所管分の規制対象事業場は、1,422 事業場であり、延べ 935 事業場に対して立入調査を行い、排水基準の遵守状況や排水処理施設の稼働状況を把握しました。</p> <p>【うち三番瀬に関する実施結果】</p> <p>県が所管する浦安市、習志野市のうち三番瀬流域に排出される規制対象事業場は、27 事業場であり、延べ 6 事業場に対して立入検査を実施しており、1 事業場の違反(勧告)がありました。</p> <p>政令市(船橋市、市川市)所管のうち三番瀬流域に排出される規制対象事業場は、443 事業場であり、延べ 266 事業場に対して立入調査を実施しており、23 事業場の違反(勧告)がありました。</p> <p><u>結果の評価</u></p> <p>立入調査を行った事業場に対する違反率は、8.8%であり、三番瀬流域内の事業場は、概ね排水基準を遵守しています。</p> <p>平成19年度 当初予算額 42,236 千円</p> <p><u>実施計画</u></p> <p>1 特定事業場等排水監視指導事業</p> <p>水質汚濁防止法に基づき、特定事業場等を対象に立入検査を実施します。</p> <p>2 東京湾の総量規制対策事業</p> <p>(1)目標年度を21年度とする第6次総量削減計画及び総量削減推進計画を策定するため、工場排水、生活排水対策等、汚濁負荷量削減の方途について検討し、実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場・事業場等に対する第6次総量削減計画及び総量規制基準の説明会の開催 高度処理浄化槽の普及促進や単独処理浄化槽からの転換指導 <p>(2)発生負荷量管理等調査</p> <p>指定事業場等から汚濁負荷量データ等を整理し、総量削減計画の進行管理を行います。</p> <p>(3)総量削減計画、水質汚濁防止法の手引き(総量規制編)、総量規制説明用パンフレットの作成及び汚濁負荷量等調査資料を作成します。</p> <p><u>事業進捗状況</u></p> <p>1 水質汚濁防止法に基づく特定事業場の排水監視について、県及び同法の政令市がそれぞれ所轄する規制対象事業場に対し、立入検査を行っています。</p> <p>2 政令市が所轄する特定事業場の排水監視に係る状況も把握し、政令市と連携して異常な負荷発生について緊急に対応できる仕組みを検討します。</p>
<p>(事業計画における5か年の目標)</p> <p>水質汚濁防止法に基づき、国が定める総量削減基本方針に従い策定した東京湾総量削減計画により、生活排水や産業排水対策等を実施し、流入する化学的酸素要求量(COD)、窒素、りんを削減します。</p>		

第4節 水・底質環境

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
3-(3)流域県民に対する啓発【水質保全課】	東京湾や流入河川の水質改善について、広く流域の住民や飲食店等の小規模事業者を対象として啓発活動を行い、生活排水及び事業者排水に係る対策の自主的な取組の普及促進を図る必要があります。 そこで、リーフレットの配布や県ホームページによる広報・啓発活動を行います。	平成18年度 決算額 - 千円
東京湾の総量規制対策事業 東京湾全体を対象 (要求予定 千円)	1 東京湾の総量規制対策事業 流域県民に対し、家庭でできる浄化対策の取組に関するリーフレットを作成すると共に、小規模な飲食店等を対象とするパンフレットを作成し配布します。 2 県ホームページによる広報 生活排水対策や飲食店・食料品製造業等、東京湾の水質浄化対策に関する情報を県ホームページに掲載します。	事業実施結果 1 総量削減計画(案)の「その他の汚濁負荷量の総量削減に関し必要な事項」に、教育、啓発等の取組としてイベント、広報紙、ホームページ、パンフレット等の媒体を利用した広報活動を展開することを明記しました。 2 法定の総量削減計画策定に併せ、行政、事業者、県民、団体が汚濁負荷の削減に取り組めるよう、実効性を持たせた県独自の総量削減推進計画を策定するため、学識者、企業、水域利用者、NPO、県民、市町村による「東京湾総量削減検討委員会」を開催し、汚濁負荷低減対策の取組や推進計画に向けた新たな取組等について検討を行いました。 【うち三番瀬に関する実施結果】 東京湾全体を対象としており、三番瀬に限定した実施結果はありません。 結果の評価 東京湾が抱える課題等や対策等について、総量削減検討委員会により検討を行い、県民等が東京湾の水質浄化の必要性の理解を深め、自主的に汚濁負荷対策や地域の活動等に取り込める内容の計画づくりを進めます。
(事業計画における5か年の目標) 水質汚濁防止法に基づき、国が定める総量削減基本方針に従い策定した東京湾総量削減計画により、生活排水や産業排水対策等を実施し、流入する化学的酸素要求量(COD)、窒素、リンの負荷量を削減します。		平成19年度 当初予算額 500 千円
		実施計画 1 リーフレットの作成・配布 東京湾の水質浄化についての理解と協力を得るため、生活排水対策に係るリーフレットを10,000部作成します。 2 県ホームページによる広報 生活排水対策や飲食店・食料品製造業等の排水規制等、東京湾の水質浄化対策に関する情報を県ホームページに掲載します。 事業進捗状況 東京湾総量削減推進計画の骨子(案)を作成し、4月の東京湾総量削減検討委員会に諮りました。今後は、検討委員会、関係市町村、県民等の意見を踏まえ、19年度中の策定を目指します。

第4節 水・底質環境

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
4 江戸川左岸流域下水道事業 (下水道の普及と高度処理) 【下水道課】 江戸川左岸流域下水道事業 東京湾全体を対象 (要求予定 千円)	河川及び東京湾へ流入する生活排水等の汚濁負荷量を削減し、公共用水域の水質保全を図ることが必要です。 そこで、引き続き公共下水道の整備を促進するとともに、市の実施する関連公共下水道と連携して、流域下水道の整備を進めます。 ・管渠の整備 野田幹線 径800mm L=約0.6km ・江戸川第二終末処理場の整備等 水処理東系列の整備ほか	平成18年度 決算額 6,425,019千円 事業実施結果 幹線管渠(市川幹線)の整備及び江戸川第二終末処理場の施設整備を実施するとともに、江戸川第一終末処理場の用地取得に着手しました。 【うち三番瀬に関する実施結果】 江戸川左岸流域下水道の管渠や終末処理場施設は、江戸川左岸流域の7市(野田市、流山市、柏市、松戸市、市川市、浦安市、船橋市)からの汚水を集水し、処理している施設であり、東京湾に流入する汚濁負荷量を削減することにより、三番瀬を含む東京湾全体の水質改善に寄与しています。 結果の評価 下水道を利用できる人口(処理人口普及率)の向上に向けて、当初予定した内容の施設整備等を実施することができました。
(事業計画における5か年の目標) 江戸川左岸流域下水道の処理人口普及率の更なる向上		平成19年度 当初予算額 7,754,193千円 実施計画 公共下水道の整備を促進するとともに、市の実施する関連公共下水道と連携して、流域下水道の整備を進めます。 ・管渠の整備 市川幹線 径1,650mm L=約0.3km ・江戸川第二終末処理場の整備 水処理東系列機械設備 他 事業進捗状況 管渠の整備については、管渠整備区間と競合している道路整備の進捗の遅れから、工事着手時期を次年度以降に変更することになりました。 また、終末処理場の水処理東系列機械設備等の整備は、順調に進んでいます。

第4節 水・底質環境

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
5 総合治水対策特定河川事業 【河川整備課】 総合治水対策特定河川事業 (国分川) (要求予定 千円)	<p>河川は生物の貴重な生息・生育の場となることから、水際や流れに変化をもたせ、護岸を緩やかにするなど、自然環境に配慮した多自然川づくりを進めていきます。</p> <p>そこで、多自然川づくりによる河川整備を行うため、19年度に引き続き、用地の取得を進め、取得済み区間の河川改修を行います。</p> <p>1 事業箇所 利根川水系国分川(松戸市秋山地先外)</p> <p>2 事業内容 用地取得 1式 河道改修 100m</p>	<p>平成18年度 決算額 111,700千円</p> <p>事業実施結果</p> <p>1 事業箇所 利根川水系国分川(松戸市秋山地先外)</p> <p>2 事業内容 用地取得 1式 河道改修 230m(左岸150m,右岸150m)</p> <p>結果の評価 多自然川づくりによる河道の整備の進捗を図りました。</p>
(事業計画における5か年の目標) 利根川水系国分川多自然河川護岸整備(市川市堀之内地先、松戸市大橋地先)		<p>平成19年度 当初予算額 60,000千円</p> <p>実施計画 河川は生物の貴重な生息・生育の場となることから、水際や流れに変化をもたせ、護岸を緩やかにするなど、自然環境に配慮した多自然川づくりを進めていきます。</p> <p>1 事業箇所 利根川水系国分川(松戸市秋山地先)</p> <p>2 事業内容 用地取得 1式 河道改修 100m(左岸50m,右岸50m)</p> <p>事業進捗状況 用地取得については、予定箇所の用地取得に向けて、関係者と取得に向けた交渉を進めています。 また、工事については、用地取得の進捗を受け、地元や関係機関との調整を行い、一部工事に着手しているところです。</p>

第4節 水・底質環境

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
6 青潮関連情報発信事業 【水産課・水質保全課】	東京湾の海底に発生する「貧酸素水塊」は、水生生物の分布に大きな影響を与えることから、その情報を把握し、共有する必要があります。 そこで、青潮発生時には水質調査等を実施し、青潮の範囲や程度を確認するとともに、被害状況等の情報を収集し、随時、関係機関に情報提供を行います。 また、漁業者と協働して海洋観測を行い、貧酸素水塊の分布情報を発信するとともに、観測日以外についてはコンピュータのシミュレーションにより予測図を作成し、県ホームページにおいて引き続き情報発信を行います。	平成18年度 決算額 30,645千円 事業実施結果 1 漁業者と協働して海洋観測を行い、青潮発生の原因となる貧酸素水塊の分布情報を発信するとともに、観測日以外についてはコンピュータのシミュレーションにより予測図を作成し、県ホームページにおいて情報発信を行いました。 2 18年度は、9月13日から19日にかけて千葉中央港及び浦安沖から幕張沖で1回の青潮の発生が確認され、関係機関に情報提供を行いました。 【うち三番瀬に関する実施結果】 1 東京湾全域の貧酸素水塊情報の一部として、三番瀬海域の情報も発信しました。 2 浦安沖から幕張沖にかけて青潮の発生が1回確認されましたが、直接的な被害はありませんでした。
青潮関連情報発信事業 東京湾全体を対象 (- 千円)		結果の評価 1 次の東京湾内の貧酸素水塊に係る情報を発信することができました。 ・海洋観測に基づく貧酸素水塊分布図 ・海洋観測と次の海洋観測までの間の貧酸素水塊分布予測図 2 青潮発生のお知らせを受け、水質調査船による青潮発生状況を調査し、青潮の範囲、程度、被害状況等の情報を収集し、関係機関に随時情報提供を行いました。
水質調査船運営事業 東京湾全体を対象 (要求予定 千円)	1 水質調査船による青潮発生状況調査の実施 ・水質保全課と環境研究センターが、水質調査船により、目視で魚類の斃死の有無を調査するとともに、必要に応じて多項目水質分析計により、水温、塩分、pH、DO(溶存酸素)、ORP(酸化還元電位)、濁度等の鉛直プロフィールを測定し、青潮の範囲や程度を確認します。	平成19年度 当初予算額 9,783千円 実施計画 1 漁業者と協働して海洋観測を行い、青潮発生の原因となる貧酸素水塊の分布情報を発信するとともに、観測日以外についてはコンピュータのシミュレーションにより予測図を作成し、県ホームページにおいて引き続き情報発信を行います。 2 東京湾に青潮が発生した場合には、水質調査等を実施して青潮範囲や程度を確認するとともに、被害状況等の情報を収集し、随時、関係機関に情報提供を行います。
(事業計画における5か年の目標) 青潮発生の原因でもある貧酸素水塊分布状況の情報発信		事業進捗状況 1 19年度は、次のとおり青潮の発生が確認され、関係機関に情報提供を行いました。 ・9月2日～4日 養老川河口から千葉中央港、幕張沖から市川航路で発生 ・10月1日～2日 船橋港内で発生 ・10月16日～19日 千葉中央港、茜浜から市川沖で発生 2 本年4月より、次の東京湾内の貧酸素水塊に係る情報を発信しています。 ・海洋観測に基づく貧酸素水塊分布図 ・海洋観測と次の海洋観測までの間の貧酸素水塊分布予測図

第5節 海と陸との連続性・護岸

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
1 市川市塩浜護岸改修事業 【河川整備課】 海岸高潮対策事業 (要求予定 千円)	<p>老朽化が著しい2丁目地先の護岸については、早急に護岸の安全性を確保するとともに、海と陸との連続性を取り戻すことが必要です。 そこで、生態系にも配慮した高潮防護の護岸改修を進めます。</p> <p>1 施工位置 市川市塩浜2丁目 2 工事延長 L = 716m 3 事業内容 ・石積緩傾斜堤護岸工事 捨石部分 L = 356m + 完成形 60m 陸側H鋼杭 L = 300m</p> <p>・モニタリング調査 平成18年12月の三番瀬再生会議・三番瀬 評価委員会等からの意見を踏まえながら、18年度～20年度施工区間等を対象として、護岸工事による影響等を把握するため地形測量、底質、生物、波浪等のモニタリング調査を実施します。 ・緑化試験 護岸緑化のための植物種の選定試験を行います。 ・順応的管理 モニタリング調査及び三番瀬自然環境調査の結果等を基に、護岸構造を評価・検討し、より良い工夫を施していきます。</p>	<p>平成17・18年度 決算額 258,600 千円</p> <p>事業実施結果 17・18年度は、市川市塩浜2丁目の護岸工事(捨石工L = 100m、うち20m完成形)、モニタリング調査、順応的管理を実施しました。</p> <p>結果の評価 実施計画で予定された工事内容とモニタリング調査内容を完了させ、良好なモニタリング結果が確認されましたが、順応的管理手法の基に、より良い工夫を施した次年度実施計画を策定することができました。</p> <p>平成19年度 当初予算額 350,000 千円</p> <p>実施計画 生態系にも配慮した高潮防護の護岸改修を進めます。</p> <p>1 施工位置 市川市塩浜2丁目 2 工事延長 L = 350m 3 事業内容 石積緩傾斜堤護岸工事、捨石部分〔1工区〕L = 230m 〔2工区〕L = 120m</p> <p>・モニタリング調査 18年12月の三番瀬再生会議からの意見を踏まえ、18年度～19年度施工区間等を対象として、護岸工事による影響等を把握するため地形測量、底質、生物、景観、波浪等のモニタリング調査を実施します。 ・順応的管理 モニタリング調査及び三番瀬自然環境調査の結果等を基に、護岸構造を評価・検討し、より良い工夫を施していきます。</p> <p>事業進捗状況 8月までに海域に係る捨石工事L = 350mを完了し、現在、モニタリング調査を進めています。 また、18年度工事完了から1年後のモニタリング調査結果の検証・評価を行い、順応的管理手法による事業の実施に努めています。</p>
(事業計画における5か年の目標) 老朽化護岸の改修 = 約900m (塩浜2丁目地先)		

第5節 海と陸との連続性・護岸

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
<p>2 護岸の安全確保の取組 【企画調整課・河川整備課・河川環境課・港湾課・企業庁建設課】</p> <p>(- 千円)</p>	<p>市川市塩浜2丁目と3丁目の区域以外においても、県民の生命・財産を守るために護岸の安全性を確保することが必要です。</p> <p>そこで、三番瀬における県が管理する護岸を適切に維持管理します。</p> <p>また、塩浜1丁目護岸については、安全かつ生態系に配慮した改修がなされるように、管理者である市川市と協議・調整を進めます。</p>	<p>平成18年度 決算額 9,907千円</p> <p>事業実施結果 17年7月に発生した塩浜1丁目護岸の地震被害に対する市川市からの財政支援要請を受け、市民生活への影響等を考慮し、市が実施した護岸補強工事費の2分の1を緊急支援しました。</p> <p>結果の評価 地震被害のあった護岸について、安全確保ができました。</p>
<p>(事業計画における5か年の目標) 護岸の安全確保に向けた具体的な取組の実施</p>		<p>平成19年度 当初予算額 - 千円</p> <p>実施計画 三番瀬における県が管理する護岸を適切に維持管理します。</p> <p>また、塩浜1丁目護岸については、安全かつ生態系に配慮した改修がなされるように、管理者である市川市と協議・調整を進めます。</p> <p>事業進捗状況 塩浜1丁目護岸の対応について、担当課による会議を1回開催しました。</p>

第5節 海と陸との連続性・護岸

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
3 自然再生(湿地再生)事業 【企画調整課・検討G】 三番瀬再生実現化推進事業 【再掲】 (要求予定 千円)	現在の三番瀬は、海と陸との変化に富む自然なつながりが護岸によって断ち切られています。 そこで、市川市塩浜地区の市川市所有地において、検討委員会の検討を踏まえ、塩浜護岸の改修や地元市・関係機関等との協議調整を図りながら、自然再生(湿地再生)の基本的事項を確定させていきます。	平成18年度 決算額 11,482千円 事業実施結果 1 庁内検討グループ検討会を5回開催しました。検討会には必要に応じ学識経験者の助言をいただきました。 2 「自然再生(湿地再生)事業」について、次の調査を実施しました。 (1)事例の収集及び課題の整理 (2)期待される機能、必要な条件 等 結果の評価 湿地再生に向け、期待される機能・効果や必要な条件を整理することができました。
		(事業計画における5か年の目標) 自然再生(湿地再生)の実現に向けた取組

第6節 三番瀬を活かしたまちづくり

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
1 三番瀬周辺区域における調和のとれたまちづくりの取組 【県土整備政策課・都市計画課】 (- 千円)	三番瀬周辺区域全体として、海と人とのつながりや地域文化を尊重しつつ、三番瀬の再生に向けて、より効果的に取り組む必要があります。 そこで、三番瀬周辺区域における調和のとれたまちづくりについて検討をするため、広域的な観点から県と地元市と協議を行うとともに、各市が行う三番瀬を活かしたまちづくりを支援します。	平成18年度 決算額 - 千円 事業実施結果 結果の評価
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬周辺区域における調和のとれたまちづくりの検討に向けた県と地元市との協議の場の設置とまちづくりの支援		平成19年度 当初予算額 - 千円 実施計画 三番瀬周辺区域における調和のとれたまちづくりについて、地元市と協議するとともに、各市が行う三番瀬を活かしたまちづくりを支援します。 事業進捗状況 三番瀬周辺区域の地元市と三番瀬を活かしたまちづくりについて協議を行っています。

第7節 海や浜辺の利用

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
1 ルールづくり 【企画調整課・水産課】 海面利用調整指導事業 東京湾全体を対象 (- 千円)	三番瀬の生態系や漁業に配慮しつつ、より多くの人々が海や浜辺に親しみ、利用できるようにしていく必要があります。 そこで、海や浜辺の賢明な利用に関するルールづくりに向けて、地域協議の場の設置のための調整を行います。 また、水産資源の持続的利用を目的とした既存ルールの周知を徹底するため、関係機関等と連携してチラシの配布や現地指導等を行います。	平成18年度事業実施結果 決算額 - 千円 事業実施結果 水産資源の持続的利用を目的とした既存ルールの周知を徹底するため、たて看板を設置するとともに、関係機関等と連携してチラシの配布や現地指導等を行いました。 【うち三番瀬に関する実施結果】 ・立て看板の設置：2基 ・関係機関等と連携したチラシの配布や現地指導の実施：5回 (延22隻のプレジャーボート、71名に対してチラシの配布や現地指導を実施) 結果の評価 既存ルールの周知を進め、秩序ある海面利用を図りました。
(事業計画における5か年の目標) 海や浜辺の賢明な利用のルールづくりに向けた地域協議の場の設置		平成19年度事業進捗状況 当初予算額 504 千円 実施計画 海や浜辺の賢明な利用に関するルールづくりに向けて、漁業者や地元市等との調整を図ります。 また、水産資源の持続的利用を目的とした既存ルールの周知を徹底するため、たて看板を設置するとともに、関係機関等と連携してチラシの配布や現地指導等を行います。 事業進捗状況 1 事例の収集等、漁業者や地元市等との調整のための準備を行っています。 2 現地指導は潮の良い休日に2回実施しており、引き続き実施する予定です。

第8節 環境学習・教育

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
1 環境学習・教育事業 【環境政策課】 三番瀬再生に係る環境学習検討事業 (要求予定 千円) 新環境学習基本方針推進事業 (スキルアップ講座) 全県を対象 (要求予定 千円) 新環境学習情報提供システム 構築事業 全県を対象 (要求予定 千円)	三番瀬の再生を進めていくためには、より広範に多くの人々が三番瀬に関心を持ち、再生への活動に参加できるようにしていく必要があります。そこで、今後も三番瀬環境学習施設等検討委員会を開催し、意見を聴きながら事業を進めます。また、平成19年度に策定した千葉県環境学習基本方針に基づき、環境学習指導者として活動している者のスキルアップを目指した体験型環境学習講座を開催するとともに、環境学習を推進するための情報をインターネットで提供するシステムの構築に着手します。	平成18年度 決算額 997 千円 事業実施結果 1 18年度は、三番瀬で活動しているNPOへのヒアリング、アンケート調査、環境学習の実施状況調査を実施しました。 2 三番瀬環境学習施設等検討委員会を6回、環境学習関連施設等視察会を2回開催し、検討委員会から今後の検討の方向性をとりまとめた報告書が県に提出された。 結果の評価 環境学習プログラム、人材の育成・確保、環境学習施設・場のあり方の3つの観点から環境学習の現状を分析するとともに、課題の抽出を行うことができました。
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬における環境学習・教育の実施		平成19年度 当初予算額 1,442 千円 実施計画 19年度に策定した千葉県環境学習基本方針や前年度に出された三番瀬環境学習施設等検討委員会からの提言を踏まえ、多様な主体が連携・協働した環境学習が行われるよう、環境学習を担う人材の確保・育成、環境学習プログラムの充実、施設や場の提供等について、引き続き検討を行います。 事業進捗状況 千葉県環境学習基本方針や検討委員会報告書をもとに、人材育成や情報提供について庁内での検討を行っています。

第9節 維持・管理

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
2 三番瀬パスポート制度(仮称) 【企画調整課】 (- 千円)	三番瀬の再生に関わる地域住民や漁業者、NPO等の協働を促進することが必要です。 そこで、広域的な地域協働につなげるための三番瀬パスポート制度(仮称)の手法についての検討を行います。	<p>平成18年度事業実施結果 決算額 - 千円</p> <p>18年度は、類似事例の収集として、足立区が実施している「あだちエコネット事業」についての調査を実施しました。</p> <p><u>結果の評価</u> 類似事例の収集により、制度についての認識を深めました。</p>
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬における地域協働の促進のための手法の検討		<p>平成19年度事業進捗状況 当初予算額 - 千円</p> <p><u>実施計画</u> 広域的な地域協働につなげるための三番瀬パスポート制度(仮称)の仕組みづくりについて、類似事例の収集分析を行うとともに、地域住民、漁業者、NPOなど関係者へのヒアリングを行います。</p> <p><u>事業進捗状況</u> 類似事例の収集を行っていきます。</p>

第9節 維持・管理

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
3 三番瀬の維持・管理活動の支援 【企画調整課】 (- 千円)	三番瀬の再生を推進するためには、地元市や地域住民等による維持・管理活動との連携が必要です。 そこで、地元市や地域住民が行なう三番瀬の維持・管理活動について、支援のニーズを把握しながら、引き続き適切に支援していきます。	平成18年度 決算額 - 千円 事業実施結果 各地の「三番瀬クリーンアップ活動」への後援や、県ホームページでの広報協力を行いました。 結果の評価 クリーンアップ活動などは、実施主体の要請に応じた後援・協力を行なってきました。一方、維持管理活動に対する支援のニーズをさらに踏み込んで把握していく必要があります。
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬における維持・管理活動の支援の継続		平成19年度 当初予算額 - 千円 実施計画 地元市や地域住民が行なう三番瀬の維持・管理活動を引き続き支援します。 事業進捗状況 要請に応じ後援・広報協力を行うとともに、三番瀬再生支援事業(補助金制度)を創設し、維持管理活動も補助対象としました。 市町村や環境団体に対し、ヒアリング等により維持管理活動に関する情報収集を行い、県としてどのような支援が適切なのか等について把握していきます。

第9節 維持・管理

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
4 ビオトープネットワーク事業 【自然保護課】 (- 千円)	学校等を中心として、「上流から三番瀬までの命のつながり」をキーワードとした流域をつなぐビオトープネットワーク計画について、「三番瀬環境学習施設等検討委員会」の意見を聴きながらビオトープネットワークについて検討します。	平成18年度 決算額 - 千円 事業実施結果 「三番瀬環境学習施設等検討委員会」を6回開催し、その中で課題の整理等の検討を進めました。 結果の評価 環境学習プログラム、人材の育成・確保、環境学習施設・場のあり方の3つの観点から環境学習の現状を分析するなかで、本事業についても検討することができました。
(事業計画における5か年の目標) 流域を含めた学校や公園緑地等を中心としたビオトープネットワーク計画の策定と展開		平成19年度 当初予算額 - 千円 実施計画 学校等を中心として、「上流から三番瀬までの命のつながり」をキーワードとした流域をつなぐビオトープネットワーク計画について、「三番瀬環境学習施設等検討委員会」の意見を聴きながら検討します。 事業進捗状況 19年度に策定した「千葉県環境学習基本方針」や検討委員会報告書をもとに、多様な主体が連携・協働した環境学習が行われるよう、環境学習を担う人材の確保・育成、環境学習プログラムの充実、施設や場の提供等、事業の課題について、庁内での検討を行っています。

第9節 維持・管理

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
5 モニタリング方法、指標づくりの検討事業 【自然保護課】 (- 千円)	三番瀬の自然環境に関するモニタリング調査を進める場合、調査結果を有効に活用できるようにするには、観察の方法や記録を統一することが必要です。 そこで、関係自治体、NPOなどにモニタリングマニュアルを周知し、三番瀬のモニタリングについて、多くの人々の参加を促進します。	平成18年度 決算額 - 千円 <u>事業実施結果</u> 学識経験者等の助言を得てモニタリングマニュアルを作成し、県ホームページに掲載しました。 また、三番瀬自然環境合同調査において、本マニュアルを活用しました。 <u>結果の評価</u> モニタリングマニュアルを作成の上、ホームページに掲載し、周知を図るとともに、本マニュアルに基づいて三番瀬自然環境合同調査を実施するなど、モニタリングへの参加の促進やモニタリングの必要性などについての理解の促進を図りました。
(事業計画における5か年の目標) モニタリング・マニュアルの作成		平成19年度 当初予算額 - 千円 <u>実施計画</u> 学識経験者等の助言を得て作成したモニタリングマニュアルを関係自治体、NPOなどに配布し、三番瀬のモニタリングにより多くの人々の参加を促進します。 <u>事業進捗状況</u> モニタリングマニュアルをホームページに掲載し、周知を図っています。 また、本マニュアルに基づいて三番瀬自然環境合同調査を実施し、モニタリングへの市民の参加を促進しました。

第9節 維持・管理

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
6 三番瀬自然環境合同調査実施事業 【自然保護課】 三番瀬自然環境合同調査実施事業 (要求予定 千円)	三番瀬の再生には、多くの人々がいろいろな形で参加できることが必要です。 そこで、特殊な器具や能力を必要とせず、多少の訓練を行えば誰もができ、かつ、一定の水準を具えた調査結果が得られる合同調査を、県民、NPOなどを公募して行います。	平成18年度 決算額 139 千円 <u>事業実施結果</u> 現地調査については、3回実施を予定し、2回実施しました。(荒天のため1回は中止) また、現地調査と併せて、事前勉強会を行いました。 調査結果のとりまとめを行いました。 <u>結果の評価</u> 調査の実施を通じて、参加者が調査手法を習得するとともに、三番瀬の底生生物や自然環境への理解を深めることができました。
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬自然環境合同調査の実施		平成19年度 当初予算額 299 千円 <u>実施計画</u> 特殊な器具や能力を必要とせず、多少の訓練を行えば誰もができ、かつ、一定の水準を具えた調査結果が得られる合同調査を行います。 1 調査内容 底生生物調査 2 調査回数 年3回(夏・秋・冬季) 3 調査場所 浦安市日の出地先海域 4 調査参加者 公募による県民、NPOなど <u>事業進捗状況</u> 事前勉強会、現地調査1回(荒天のため1回は中止)、考察会、事後勉強会を開催しました。 参加者と協働で報告書の作成を行っています。

第9節 維持・管理

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
7 三番瀬自然環境データベース構築事業 【自然保護課】 三番瀬自然環境データベース事業 (要求予定 千円)	<p>三番瀬の再生に当たっては、三番瀬の環境の現況や推移を的確に把握するとともに、再生事業の実施に係る順応的な管理を行うことが必要です。そこで、情報の効率的な活用を目的として構築したデータベースに三番瀬自然環境調査等のデータの追加を行うなどの維持作業を行います</p> <p>1 データの追加 平成19年度三番瀬自然環境調査のデータを追加します。 海生生物現況調査(魚類着底状況) 鳥類生息状況調査 ・鳥類個体数経年調査 ・鳥類行動別個体数調査 ・スズガモ、カワウ食性調査</p>	<p>平成18年度 決算額 1,082千円</p> <p>事業実施結果 データの追加、グラフ機能の改良を行いました。県文書館、環境研究センター、中央博物館にデータベースを設置しました。利用方法などについてのホームページを作成するとともに、一部の機能については、ホームページで見られるようにしました。</p> <p>結果の評価 3箇所の設置場所において、市民がデータベースを利用できるようになり、多くの方が三番瀬の自然環境に関する調査を簡易にかつ効率的に活用できる環境が整いました。</p>
(事業計画における5か年の目標) 自然環境データベースの構築及び更新		<p>平成19年度 当初予算額 822千円</p> <p>実施計画 情報の効率的な活用を目的として構築したデータベースに三番瀬自然環境調査等のデータの追加を行うなどの維持作業を行います。</p> <p>事業進捗状況 データを追加するためのデータの整理等を行っています。ホームページへの掲載や三番瀬自然環境合同調査において、本データベースの周知を図りました。</p>

第10節 再生・保全・利用のための制度及びラムサール条約への登録促進

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
1 三番瀬の再生・保全・利用のための条例の制定 【企画調整課】 (- 千円)	三番瀬の再生・保全には長期的な取組が必要とされています。 そこで、この取組を支えるために、三番瀬の再生・保全・利用等の枠組みを明確にする条例の制定に向けて、条例案を検討し、既存法令との関係の調整等に取り組みます。 1 条例案の具体的検討 2 関係法令との関係の整理・調整 条例案に関連する最新関係法令との関係の整理・調整等を行います。 3 関係機関等との協議・調整 国、地元市、庁内関係部局等との協議・調整に取り組みます。 4 類似立法についての情報収集 海洋基本法を始め、内容等が類似・関連する立法の動向について情報収集を行い、問題点等を整理します。	平成18年度 決算額 - 千円 事業実施結果 18年度は、県議会三番瀬問題特別委員会における審議等に即し、課題の整理や情報の収集等を行いました。 具体的には、円卓会議条例要綱案について、条例全体の構成、用語の明確化、条例施行に伴う組織や予算等、県条例として検討を進めるべき課題の整理や県議会における審議過程についての情報収集を行いました。 結果の評価 単なる理念ではなく、規制的要素を含む条例を県として定めるにあたっては、精緻な検討が必要であり、取組の第一歩としての課題の整理等を進めることができました。
		(事業計画における5か年の目標) 条例制定に向けた取組

第10節 再生・保全・利用のための制度及びラムサール条約への登録促進

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
2 ラムサール条約への登録促進 【自然保護課】 (- 千円)	谷津干潟と三番瀬との連携を考慮したラムサール条約への登録について、地域住民をはじめ、関係者・関係機関との協議・調整を進めます。	平成18年度 決算額 - 千円 <u>事業実施結果</u> 環境省、地元市と連携し、漁協関係者と条約や鳥獣保護区の趣旨、規制内容等についての説明や三番瀬再生についての意見交換会(4回)を行いました。 <u>結果の評価</u> 漁協関係者のラムサール条約への登録による懸念等を把握することができました。
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬のラムサール条約への登録について関係者の合意形成		平成19年度 当初予算額 - 千円 <u>実施計画</u> 谷津干潟と三番瀬との連携を考慮したラムサール条約への登録について、地域住民をはじめ、関係者・関係機関との協議・調整を進めます。 <u>事業進捗状況</u> 18年度に引き続き、漁業関係者とラムサール条約の趣旨、規制内容等についての勉強会や意見交換会を実施する予定です。

第11節 広報

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
<p>1 インターネットなどによる情報発信 【企画調整課】</p> <p>インターネットなどによる情報発信 (- 千円)</p> <p>三番瀬ライブカメラ設置・運用事業 (要求予定 千円)</p>	<p>三番瀬の再生には幅広い県民の理解と協力が必要です。</p> <p>そこで、三番瀬に関する各種情報やクリーンアップ活動等の再生に向けた様々な取組について、最新の情報を広く継続的に発信します。</p> <p>1 県ホームページ(三番瀬コーナー)の更新 2 県民だより、テレビ・ラジオによる県の広報番組等を活用した情報発信</p> <p>ふなばし三番瀬海浜公園に設置した三番瀬ライブカメラの保守・管理を適切に行い、三番瀬の海や干潟、渡り鳥の姿等映像を、インターネットを利用して誰でもリアルタイムで見ることができるようになります。</p>	<p>平成18年度 決算額 1,412千円</p> <p><u>事業実施結果</u></p> <p>1 ホームページの更新(通年・随時) ・三番瀬トップページのリニューアル(5/8) ・三番瀬フォトギャラリー開設(7/3)ほか随時更新</p> <p>2 三番瀬ライブカメラの保守・点検(通年)</p> <p>3 三番瀬パンフレットの作成</p> <p><u>結果の評価</u></p> <p>最新情報を遅滞なくホームページに掲載しました。 また、18年3月に設置したライブカメラ等により、ホームページのアクセス件数は前年度よりも大幅に増加し、三番瀬への関心を高める効果がありました。 三番瀬再生計画を紹介するパンフレットを作成しました。</p> <p>平成19年度 当初予算額 6,159千円</p> <p><u>実施計画</u></p> <p>1 インターネットなどによる情報発信 ・県ホームページ(三番瀬コーナー)の更新 ・県民だより、テレビ・ラジオによる県の広報番組等を活用した情報発信</p> <p>2 三番瀬再生国際フォーラム開催事業</p> <p>3 三番瀬ライブカメラ設置・運用事業</p> <p><u>事業進捗状況</u></p> <p>1 インターネットなどによる情報発信 最新情報を遅滞なく掲載しています。また、英語版ホームページを開設しました。(5/24)</p> <p>2 三番瀬再生国際フォーラム開催事業 企画段階から県民参加のもとで、20年1月29日の開催に向け、準備中です。</p> <p>3 三番瀬ライブカメラ設置・運用事業 適正に維持管理を行い、広く利用に供しています。</p>
(事業計画における5か年の目標) わかりやすい情報の発信		

第11節 広報

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
2 広報拠点活用事業 【企画調整課】 サテライトオフィス運営委託事業 (要求予定 千円)	<p>三番瀬への関心と理解を深めるためには、三番瀬再生会議や三番瀬の自然環境等に関する資料の展示・閲覧等により、広く県民に情報提供を行うことが必要です。</p> <p>そこで、船橋フェイスビル(船橋駅南口)に設置している三番瀬サテライトオフィスにおける資料展示について一層の工夫・充実を図るなど、広報拠点としての魅力の向上に取り組めます。</p> <p>また、その運営については、企画の提案について広く公募を実施した上で、県民参加による再生の取組の一環としてNPOなどに委託します。</p>	<p>平成18年度 決算額 6,641千円</p> <p>事業実施結果 18年度は、県ホームページによる三番瀬サテライトオフィスの広報・PRに努めるとともに、NPO法人を通じた各種資料の展示・閲覧・説明、各種ビデオの備え付け・視聴等により魅力ある運営に努めました。</p> <p>結果の評価 三番瀬サテライトオフィスへの訪問者数は、17年度7,915人から18年度9,497人と約16.7%増加しており、年々増加傾向にあり、広報事業として一定の成果を挙げました。 今後は、運営委託先であるNPO法人と事業運営上の話し合いの機会を多く持ち、互いの特性を生かしあいながら、よりよいパートナーシップを構築していく必要があります。</p>
(事業計画における5か年の目標) 広報拠点の充実		<p>平成19年度 当初予算額 6,442千円</p> <p>実施計画 三番瀬への関心と理解を深めるためには、三番瀬再生会議や三番瀬の自然環境等に関する資料の展示・閲覧等により、広く県民に情報提供を行うことが必要です。 そこで、船橋フェイスビル(船橋駅南口)に設置している三番瀬サテライトオフィスにおける資料展示の充実を図るなど、広報拠点としての魅力の向上に取り組めます。 また、その運営については、県民参加による再生の取組の一環としてNPOなどに委託します。</p> <p>事業進捗状況 19年度も、NPO法人への委託により、三番瀬サテライトオフィスにおける資料展示の充実を図るなど、魅力ある運営に取り組んでいるところです。 なお、昨今の契約制度の状況を考慮して、20年度からは、公募による競争的方式である企画提案方式へ移行する予定です。</p>

第11節 広報

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
<p>3 三番瀬フェスタ開催事業 【企画調整課】</p> <p>三番瀬再生支援事業(後掲・内数) (要求予定 千円)</p>	<p>三番瀬への関心と理解を深めるためには、NPOなどが開催する事業に対し、財政的に支援していくことが必要です。</p> <p>そこで、三番瀬の状況を多くの方に紹介し、再生への理解と参加を促すため、NPOなどが開催する三番瀬フェスタについて、三番瀬再生支援事業を活用して支援を行います。</p>	<p>平成18年度 決算額 2,800千円</p> <p>事業実施結果</p> <p>18年度は、NPOに委託して以下の屋外イベント、討論会、展示会を実施しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「感じよう！三番瀬『三番瀬フェスタ 2006 市川塩浜』」(8月19日、参加者2,000人) <ul style="list-style-type: none"> ・シーサイドライブ、三番瀬ハゼつり会 等 ・船での三番瀬視察会併催(8月26日) 三番瀬フェスタ PART2『本音で語る！三番瀬』～私にとっての三番瀬～(10月28日、参加者100人) <ul style="list-style-type: none"> ・参加者による意見表明・意見交換 等 三番瀬 SANBANZE 展(19年1月30日～2月4日、延べ500人) <ul style="list-style-type: none"> ・三番瀬関係写真展 等 <p>結果の評価</p> <p>屋外イベント、屋内討論会、写真展という複数の事業を、内容のバランスに配慮し企画・実施したものであり、屋外イベントにあっては、多数の地元児童・生徒の参加を得るなど、広報事業として一定の成果を挙げました。</p> <p>平成19年度 当初予算額 2,000千円</p> <p>実施計画</p> <p>三番瀬の状況を多くの方に紹介し、再生への理解と参加を促すため、NPOなどが開催する三番瀬フェスタについては、三番瀬再生支援事業を活用して支援を行います。</p> <p>事業進捗状況</p> <p>「御菜浦・ふなばし三番瀬港まつり」の実施に対し、三番瀬再生支援事業補助金(100万円)を19年8月2日に交付決定しました。</p> <p>なお、「御菜浦・ふなばし三番瀬港まつり」については、19年10月6日に実施済みです。</p>
<p>(事業計画における5か年の目標)</p> <p>三番瀬フェスタの開催</p>		

第11節 広報

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況	
事業名	事業内容		
4 三番瀬再生活動への支援 【企画調整課】 三番瀬再生支援事業 (要求予定 千円)	三番瀬の再生には、地域活動の担い手の育成とそれらの地域活動へ多くの地域住民・県民が参加し、協働して取り組んでいくことが必要です。 そこで、NPOなどが実施するシンポジウムや視察会等の多様な再生事業への取組に要する経費の一部を県が補助する制度を継続して設けるとともに、県民参加を促す広報を行います。 (補助制度の概要) 1 補助対象 継続的、自発的に三番瀬再生に役立つ活動を行う特定非営利活動法人及び社会貢献活動を行っている非営利の任意団体 2 補助対象の活動 (1)多くの県民の参加を得て行われる活動で、以下のもの ・三番瀬の再生、維持管理に関する催し ・三番瀬に関する環境学習活動 ・三番瀬に関する広報活動 (2)その他、県が認める三番瀬の再生に役立つ活動 3 補助率 補助対象経費の1/2以内	平成18年度	決算額 - 千円
		(事業計画における5か年の目標) NPOによる再生事業への支援と県民参加に向けた広報	事業実施結果 結果の評価 平成19年度 当初予算額 2,000千円 実施計画 NPOなどが実施するシンポジウムや視察会等の多様な再生事業への取組に要する経費の一部を県が補助する制度を創設します。 1 補助対象 継続的、自発的に三番瀬再生に役立つ活動を行う特定非営利活動法人及び社会貢献活動を行っている非営利の任意団体 2 補助対象の活動 (1)多くの県民の参加を得て行われる活動で、以下のもの 三番瀬の再生、維持管理に関する催し、三番瀬に関する環境学習活動、三番瀬に関する広報活動 (2)その他、県が認める三番瀬の再生に役立つ活動 3 補助率 補助対象経費の1/2以内 事業進捗状況 4団体から2,250千円の要望があり、選考会議の選考等を経て、2,000千円の交付決定を行いました。また、19年度の補助対象事業について、三番瀬再生国際フォーラム等において、積極的な広報活動を行います。

第11節 広報

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
5 三番瀬再生クラブ(仮称)の設立 【企画調整課】 (- 千円)	多くの県民や企業の参加のもとで三番瀬の再生を進める必要があります。 そこで、地域の住民・企業をはじめ、県民や県内企業等が集う「三番瀬再生クラブ(仮称)」の設立のための具体的な枠組みを定め、関係者との協議のもと、設置に向けた準備を行ないます。	平成18年度 決算額 - 千円 事業実施結果 結果の評価
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬再生クラブ(仮称)の設立		平成19年度 当初予算額 - 千円 実施計画 地域の住民・企業をはじめ、県民や県内企業等が集う「三番瀬再生クラブ(仮称)」の設立を目指して、類似事例の収集や関係者へのヒアリングなどを行うとともに、三番瀬再生クラブの中核となって活動していただく「三番瀬再生推進員(仮称)」の設置について検討します。 事業進捗状況 これまで環境再生に関する類似事例の情報収集を行なっています。今後は特に参考になりそうな事例のヒアリングを行いながら、どのような枠組みでの設立が「三番瀬再生クラブ」にふさわしいかの検討を行なっていきます

第11節 広報

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
6 三番瀬再生キッズ育成事業 【企画調整課】 新三番瀬再生キッズ育成事業 (要求予定 千円)	<p>三番瀬の再生には地域の子供たちが三番瀬に愛着を持って関わり、その活動を世代を超えた息の長い取組へとつなげていく必要があります。</p> <p>そこで、地元の小学生による三番瀬の再生につながる自主活動促進の契機となるよう、夏期に三番瀬を研究・体験してもらう機会を設ける他、事業に対する具体的なニーズの調査等を実施します。</p> <p>1 バスによる夏期三番瀬見学会 小学生親子を対象とする、三番瀬視察・見学(ふなばし海浜公園等) 専門家(三番瀬に詳しい人物)によるレクチャー(バスの中及び三番瀬) 児童・保護者に対するアンケート調査</p> <p>2 参加児童による各学校での見学成果発表等(自由研究の発表等として)</p> <p>3 参加保護者による21年度以降の事業の方向性の検討</p>	<p>平成18年度 決算額 - 千円</p> <p><u>事業実施結果</u> (庁内における類似事業及びNPO等が実施している類似事業の状況の把握や地元市の小学校における取り組みの情報の収集等を進めています。)</p> <p><u>結果の評価</u> (後年度における事業の具体化に向けて、一応の情報の集積ができました。)</p> <p>平成19年度 当初予算額 - 千円</p> <p><u>実施計画</u> 三番瀬の再生には地域の子供たちが三番瀬に愛着を持って関わり、その活動を世代を超えた息の長い取組へとつなげていく必要があります。</p> <p>そこで、地元の小学生による三番瀬の再生につながる自主活動を促進するため、地元の市や小学校等と連携して活動事例の収集や事業推進上の課題整理を行います。</p> <p><u>事業進捗状況</u> 庁内における類似事業及びNPO等が実施している類似事業の状況の把握や地元市の小学校における取り組みの情報の収集等を進めてきましたが、これらの情報等を踏まえ、20年度以降の事業の具体化へ向け、調整を進めています。</p>
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬再生キッズへの支援		

第11節 広報

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
7 三番瀬再生の広報に係る標語・図案等の検討 【企画調整課】 三番瀬再生の広報に係る標語・図案等の検討事業 (要求予定 千円)	NPOなどによる多様な取組を支援し、県民や企業の参加を促進するため、三番瀬の再生に係る様々な分野の人々が共通に使える標語(キャッチコピー)・図案(シンボルマークなど)について、公募により決定するとともに、今後の活用方法や効果等について検討します。	平成18年度 決算額 - 千円 事業実施結果 <u>結果の評価</u>
(事業計画における5か年の目標) 三番瀬再生の広報に係る標語・図案等の検討		平成19年度 当初予算額 - 千円 実施計画 NPOなどによる多様な取組を支援し、県民や企業の参加を促進するため、三番瀬の再生に係る様々な分野の人々が共通に使える標語・キャッチコピーやシンボルマークなどの活用方法や効果等について検討します。 <u>事業進捗状況</u> 19年度は、NPOなどによる多様な取組を支援し、県民や企業の参加を促進するため、三番瀬の再生に係る様々な分野の人々が共通に使える標語・キャッチコピーやシンボルマークなどの活用方法や効果等について、県の他の事例など事前調査を含めた検討を行っています。

第12節 東京湾の再生につながる広域的な取組

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
1 国、関係自治体等との連携による広域的な取組 【水質保全課・企画調整課】 (- 千円)	東京湾の再生には、汚濁負荷量の削減による水質改善をはじめとする様々な対策が必要です。そこで、これまで以上に河川流域や東京湾周辺の自治体と連携して、広域的な取組を行います。 1 第6次東京湾総量削減計画の推進 19年度に策定した東京湾総量削減計画に基づき、河川流域や東京湾周辺の自治体と連携して、広域的な取組を行います。 2 八都府市首脳会議による取組 東京湾の底質改善対策の基礎資料を得るため、引き続き、底質調査結果を取りまとめると共に、東京湾の富栄養化対策に関する事項について情報交換を行うと共に、新たな取組手法等について検討します。 3 東京湾岸自治体環境保全会議による取組 東京湾の水質浄化を図るため、引き続き、広域的な対策と湾岸住民への環境保全に係る啓発について協議し、総合的・広域的な環境調査や技術・情報等の交流(イベント、シンポジウム等の開催)、東京湾に関する情報収集・提供など普及啓発を行います。 4 東京湾再生のための行動計画との連携 18年度に取りまとめた第1回中間評価を踏まえ、関係機関と共に流域の汚濁負荷削減対策、海域浄化対策、海域環境のモニタリング等に取り組みます。 5 上記の取組に加え、各種シンポジウムなどにおいて、三番瀬の再生の取組を情報発信するとともに、国内他事例との意見交換や交流、河川上流との交流の強化等、広域的な連携を図るための広汎な取組を引き続き検討します。	平成18年度 決算額 - 千円 <u>事業実施結果</u> 1 第6次東京湾総量削減計画の推進 ・国が定めた総量削減基本方針(18年11月策定)を踏まえ、第6次総量削減計画(案)及び総量規制基準(案)を作成し、千葉県環境審議会に諮り、パブリックコメントを行い、19年3月に千葉県環境審議会の答申を得ました。 2 八都府市首脳会議による取組 ・環境問題対策委員会水質改善専門部会において、流域住民への水質改善に関する普及啓発について検討を行いました。 3 東京湾岸自治体環境保全会議による取組 ・東京湾流域住民への環境保全に係る啓発活動として、30周年記念誌「私たちの東京湾」を作成すると共に、11月に盤洲干潟探索レクチャーを行いました。 4 東京湾再生のための行動計画との連携 ・行動計画策定後3年間の取組状況を総合的に評価し、第1回中間評価を取りまとめると共に、東京湾再生への関心を高めるためのシンポジウムやセミナーを3回開催しました。 <u>【うち三番瀬に関する実施結果】</u> 東京湾再生のための行動計画では、「三番瀬周辺」が特に重点的に再生を目指す海域のアピールポイントに選択されており、三番瀬周辺における指標及び目標に対する目安については、三番瀬再生計画との整合を図りながら検討することとしています。 <u>結果の評価</u> 東京湾の環境に対する科学的理解は未だ十分とはいえない状況にあり、東京湾の汚染メカニズムの理解が東京湾再生の効果的な推進に不可欠であることから、引き続き、多様な主体が協働し、一層効率的な推進体制の構築を目指します。
(事業計画における5か年の目標) 東京湾の再生につながる広域的な取組		平成19年度 当初予算額 132 千円 <u>実施計画(抜粋)</u> 1 東京湾総量削減計画の推進 ・第6次東京湾総量削減計画を策定し、水質改善に係る諸施策を推進することにより、COD、窒素、リンの負荷量の削減を図ります。 2 八都府市首脳会議による取組 ・東京湾の水質改善に結びつく具体的な普及啓発の取組について検討します。

平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画(案)		事業の進捗状況
事業名	事業内容	
		<p>3 東京湾岸自治体環境保全会議による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京湾の水質浄化を図るため、広域的な対策と湾岸住民への環境保全に係る啓発について協議し、総合的・広域的に実施することが必要な環境調査や技術・情報等の交流、東京湾に関する情報収集・提供、普及啓発を実施します。 <p>4 東京湾再生のための行動計画との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東京湾再生のための行動計画」に基づき、関係機関とともに、流域の汚濁負荷削減対策、海域浄化対策、海域環境のモニタリング等に取り組みます。 <p>5 上記の取組に加え、三番瀬再生国際フォーラム等において、三番瀬の再生の取組を情報発信するとともに、国内他事例との意見交換や交流、河川上流との交流の強化等、広域的な連携を図るための広汎な取組を進めます。</p> <p>事業進捗状況</p> <p>1 第6次東京湾総量削減計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6次総量削減計画を6月に策定し、公示しました。また、総量削減計画に合わせ総量規制基準を6月に告示しました。 <p>2 八都県市首脳会議による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率・効果的な東京湾の水質改善に係る普及啓発手法を検討し、普及啓発資料を10月に作成しました。 <p>3 東京湾岸自治体環境保全会議による取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京湾水質調査報告書を作成すると共に、東京湾岸マップの更新・編集作業を行っています。 <p>4 東京湾再生のための行動計画との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸域の負荷削減対策や海域の環境改善対策を推進すると共に、幅広い主体との協働によるモニタリング実施や情報共有・公開の手法の改善について検討しています。 <p>5 三番瀬再生の取組の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年1月29日に開催する三番瀬再生国際フォーラムの準備を、県民の参加を得ながら行っています。